

麦作改善対策事業 協栄酪農庭谷地区で推進

飼料作へ転換

協栄酪農

を計画し、これを奨励するため、補助制度をつくりました。いま町にも、この補助事業を推進しているものに協栄酪農の飼料作への転換、庭谷地区の小麦作への転換があります。

協栄酪農(河原元二組合長、乳牛数二五〇頭、飼育農家数七八戸)では、大麦、裸麦を飼料作へ転換しています。この面積は十七ヘクタールで、これを促進するためにさらに家畜をふやすことを考えており、自給飼料化を高めるため、いろいろの施設を共同化し、畜舎の整備や各種機械を買い入れて、大きな効果をあげつつあります。

その一つに、尿散布車があります。これは、私たちの家庭へ回わってくるふん尿くみ取り車(衛生車)を小さくしたような働きをもち、尿のくみ取りから運搬、日でのり、水くれ、火災時の消防ポンプ

の役目までするという便利なものです。この組合は、補助事業として五台を買い入れ、各部落へ配車しておき、組合員が共同利用しています。なお、この組合の飼料作転換を目的とする事業費は七十一万九千円で、うち県補助が三十一万五千円あります。

小麦作へ転換 庭谷地区

麦作改善のモデル指定地区となつた庭谷地区は、大麦、裸麦をやめて、小麦の作付けに切り替えています。これはただ小麦作に切り替えるばかりでなく、人的労力を機械力によつてはぶくと同時に、栽培法の改善によつて生産の合理化をはかるというもので、これをひとつに、省力多収穫栽培といつています。ここでは、施肥(播)種機、刈取機、乾燥機などを購入したり、専門家に生産技術



写真(上)は施肥は種機 (下)は尿散布車



術の向上のための技術的指導や講習講話などが行なわれます。この改善のために、この地区の事業費は五十四万円となりませんが、これは四・五・県・町を合せて四十二万円の補助金が出されます。また、この補助事業によつて購入した機械のなかで施肥(播)種機は、土を振り、ならし、肥料をまき、種をまき、土をかける一連の作業を一度に行なう能率のな機とされ、これにおける農作業の支柱的役割をはたすものといわれます。

すわ！一大事

そのときの用意に

十一月十一日、小幡小学校校庭の片すみで、ごほんのたき出しの講習会が行なわれました。

これは、婦人会を対象として行なつたもので、災害が起つた場合の、たき出しの勉強会です。いままでは、災害時などのたき出しは、「おにぎりと相場がきまつていまし



たが、この会では、これより合理的で能率のある方法がとられていきます。まず、ポリエチレンで作られた「ハイゼックス」という袋に、一合の米と、一合の水を入れ、なかの空気をぬいてゴムでよくしばります。それをにえたつたなべやかまのなかに入れて、約二十五分間にわたって、取り出して、七、八分ビニールなどをかぶせておけば、りつばなごほんができあがります。講習会のおと、試食会が開かれましたが、忘年会の酒もひかえることが大切です。

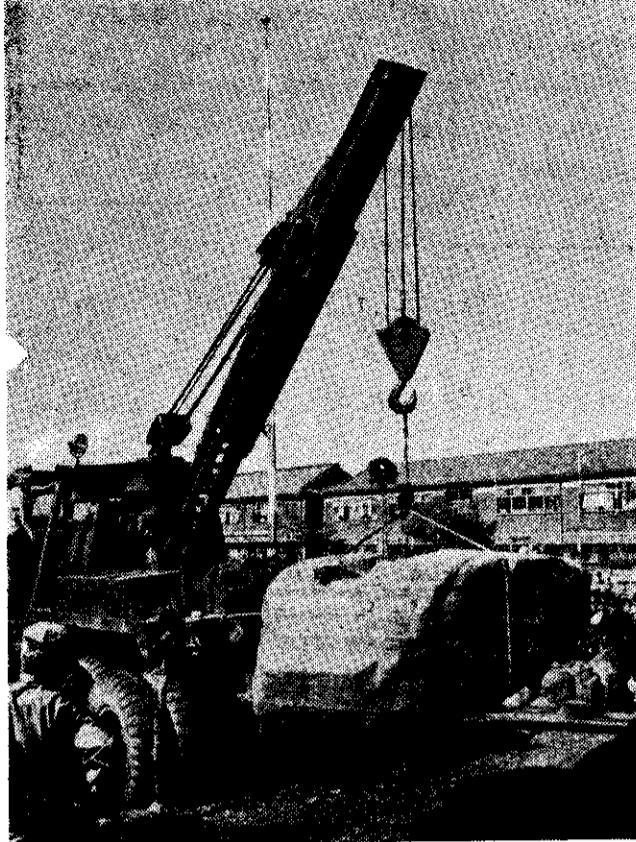
これからは火災の多い季節にはいります。火のもとには十分注意しましょう。

係から
本日は、都合により「工場紹介」を休みました。

小幡地区に忠霊塔

郷友会が主体で建設

大字小幡字今宮地内(既設)の忠霊塔が建



てられます。この忠霊塔は、小幡地区の英霊を合祭するものです。当町には、この地区だけに忠霊塔がなかつたことから、この地区の遺族会から建設運動がおこり、いろいろの経過をたどつて、郷友会が主体で建設

することになったのです。建設費の予算は八十六万一千円あまりで、このうち町の費用四十三万円、残額を有志寄付にたよることになってい

ます。塔は仙台石で、高さ三・六メートル、幅一・二メートル、厚さ一八センチメートルのもので、この土台石は小幡小学校校庭にある元戦双記念碑に使用したものを使用します。そして完成は十二月中旬の予定です。

自衛隊が協力

忠霊塔建設の事業は、ほぼ順調です。

町ならびに郷友会では、このもつとも難題とされてきた土台石の運搬を自衛隊におねがひしたところ、自衛隊では、これを心よく引き受けて下さいます。土台石は、小幡小学校校庭にあるものを、建設地の今宮まで約五百メートルを運搬するものです。

十月六日、七日の二日間、新町から小幡隊長以下八人が、クレーンカー二台、クレーンカー

自衛隊建設の事業は、ほぼ順調です。

予算が少なく、しかも、強力な機械力が必要とする仕事なので、工事を自衛隊におねがひしました。小幡隊長以下隊員の皆さんが、朝早くから夜おそくまで、日ごろの訓練のものをいわずして、運搬作業を行なつて下さつたので、二日間の短期間で全部の石を運ぶことができました。その間、隊員のきびきびした、しかも、熱意ある仕事ぶりには、ほんとうに感激させられました。

おとしよりの会

新屋地区にできる

十月十六日、新屋地区に、七十才以上のおとしよりの会ができました。この会は長寿会といつて、新生活運動をいっしょけんめい行なつていく婦人会のきりりとしてきたもので、その目的は「老人の生活を明るく楽しいものにしてあげよう」ということです。

この日は九十名のおじいさん、おばあさんが集つて発表式をあげ、会ができる、ほん

報告後、会長に安藤寛太郎さん、副会長に浦辺忠太さん、三木かねさんを

へビー群馬コンクールに、甘楽町代表として大字白倉浦辺恵子(保司さんの2女)ちゃん、大字上野吉田長英(信治さんの長男)ちゃんの2人が選ばれ、浦辺恵子ちゃんは郡代表となりました。そして11月17日、めでたく県表彰を受けることになりました。

脳卒中

年末に多い

脳卒中は、年末に多いといわれます。知らぬ間に高くな

下さい。

年賀状 一月十五日から

勉強する生徒たち



恵子ちゃん
優良ベビーで表彰

「教材用にお使い下さい」と、富岡電報電話局から第一中学校へ、電話機二基が贈られました。これは、十月二十三日の電信電話記念日にちなんで、これに対する生徒の知識を高めようというものです。贈られた電話機は一般に使われているものと全くおなじです。ただこれは、乾電池二つずつ入れれば、簡単に送受信できます。写真は、さつそくモシモシを勉強する生徒たち



勉強する生徒たち